

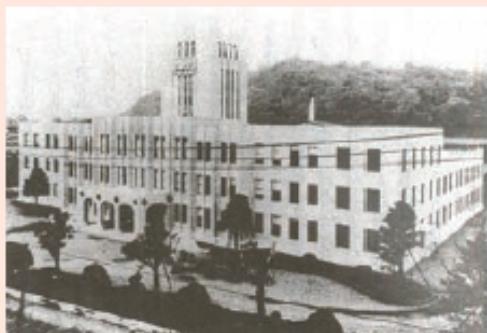
市議会あんな話・こんな話～第10話～

「議場の変遷」

歴史的な鹿児島市の初議会は、第1回の当選議員36人を迎えて、明治22年5月9日に、当時、易居町にあつた名山小学校で開かれました。その後議場は、市庁舎として使用していた県の所有する興業館（現在の県立博物館考古資料館）や明治25年に完成した旧市庁舎（現在の市立美術館の土地にあつた）に置かれていました。

昭和9年に議会は市庁舎建築委員を選任し、建設に向けて本格的に取り組み始めました。市側と建築委員たちは、庁舎建設の検討を重ね、その結果、当時建設中だった国會議事堂をモデルにすることとし、大蔵省營繕管財局工務部による設計で、昭和12年6月に現在の市役所本館が完成しました。

なお、この建物は、平成10年に国の登録有形文化財に指定されています。



新築直後の市庁舎(昭和12年6月完成)

なくなつたことから、公会堂や商工会議所に移りました。「まるで渡り鳥じゃ」という議員もいたそうです。

当初、本館にあつた議場は、その後、昭和42年に市役所別館に移り、現在に至っています。

今の議場は、現在建設中の西別館（仮称）に来年度移転します。新しくなる議場にも、ぜひ傍聴にお越しください。